

項目	観点	教科書名	
		新しい地図帳(2・東書)	楽しく学ぶ 小学生の地図帳(46・帝国)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を養うために、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科で地図帳を活用できるよう、社会科の学習で事例とされる地域のドローン動画をQRコンテンツに収録している。 ・理科や家庭科などでも活用できる主題図を設けるなど、様々な教科で活用できる工夫をなされている。修学旅行や社会科見学につながる学習を進めることが出来る効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全編にわたって、主体的な学びを促すための問いが掲載されており、資料活用能力および主体的な学びの力を伸ばせるように作成されている。 ・該当学年で必要な内容を絞った地図が数種類掲載されていて、発達段階への配慮がなされている。3年生でも読み取りやすい簡略化された地図、6年生の歴史学習でも活用できる地図など、4学年にわたって活用できるよう編集されている。
2 内容の程度及び取り扱いについて	社会的な見方、考え方を働かせるために、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍の教科書に沿った内容が展開されている。自分の住んでいる場所と、他の地域・国とのかかわりを学ぶ(3年)、ドローン動画の視聴により地域や広がりや土地利用の様子を学ぶ(5年)、歴史的事象が起こった場所の地理的な特徴や広がりを知る(6年)など、授業で活用することで社会的な見方・考え方を育むことができる。 ・「ホップ ステップ マップでジャンプ」のコーナーがあり、資料地図を読み取る観点を学んだり、資料地図から読み取れることをまとめる練習をしたりすることができる。 ・デジタルコンテンツを活用した資料が多い。各ページに二次元コードが掲載されており、児童が各自調べたい項目について、深く学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを促す問い「トライ!」「地図マスターへの道」が設置しており、地図活用のスキルや社会的知識が身に付くように工夫されている。 ・デジタルコンテンツを活用した資料が多い。各ページに二次元コードが掲載されており、児童が各自調べたい項目について、深く学ぶことができる。また、地図帳のデータが古くなった場合でも、最新のデータを得ることができる。 ・二次元コードから動画やクイズ、アニメーション、VRなどの豊富なコンテンツが用意されており、主体的に学ぶ力の育成、楽しく深く学ぶ力を育成し、社会的な見方・考え方を伸ばす工夫がされている。
3 内容の配列・分量	教材の配列、分量には、どのような特色があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地図に楽しく親しめるクイズコンテンツ、動画コンテンツ、ウェブサイトへのリンク、資料などのデジタルコンテンツが豊富である。子どもたちになじみやすいキャラクターを設定し、楽しく学べる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地図のやくそく」や「地図の使い方」について14ページ分を使い、丁寧にわかりやすく説明している。地図に初めて出会う入門期の3年生にとって見やすく理解しやすい内容となっている。 ・歴史学習や持続可能な社会の実現にむけて(SDGsの視点を養える資料)等の特設ページを設け、他教科にも活用できる内容となっている。
4 表記・体裁	用語や写真、使用上の便宜等については、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターを活用し、子供らしい表現で地図の仕組みなどを解説することで、地図に親しみながら技能を身につけられるよう配慮されている。 ・すべての表記にふりがながついていて、3年生の児童にも配慮されているとともに、正しい地名を覚えるための手立てがなされている。 ・カラーユニバーサルデザイン(CUD)への配慮を行い、学習上の支障を取り除いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターを活用し、子供らしい表現で地図の仕組みなどを解説することで、地図に親しみながら技能を身につけられるよう配慮されている。 ・通常の地図は4色刷であるが、独自のクサ色を加え、5色で印刷されており、土地の様子が鮮やかに見やすく表現されている。色味が穏やかで、児童の特性に配慮されている。 ・すべての表記にふりがながついていて、3年生の児童にも配慮されているとともに、正しい地名を覚えるための手立てがなされている。 ・文字の視聴性を高めるため白色のフチを採用、都道府県名・都道府県庁所在地は独自開発したユニバーサルデザインフォントを活用し、インクルーシブ教育への対応をしている。 ・132ページという大容量ながら、紙の軽量化を図り、全体の重さを抑えて子どもたちが活用しやすい配慮がされている。